

## 製造業

大手工作機械関連の金属加工下請け、季節商品を扱う食品製造の一部では好調と回答しているが、その他の製造業は総じて売上げの悪化や景況感の悪化を報告している。景況感について良いと回答したところから悪いと回答したところをマイナスし、調査対象数で除した「DI値」は前月より5ポイント下がり、マイナス30となつている。(平成18年1月、7月に続く悪い数値)

## 非製造業

昨年末以降下落を続けていた景況感のDI値が未だマイナスではあるが、33ポイント回復。プラズマ液晶・地上波デジタル関連商品の売行きが良い。

自動車は、軽自動車が好調な売れ行き。一部の高級車も売れているが、総数は高齢化社会を背景に減少傾向である。その他小売業、サービス業では、景気回復にというにはほど遠い状況であり、仕事量・売上・収益共に減少傾向であることが報告されている。

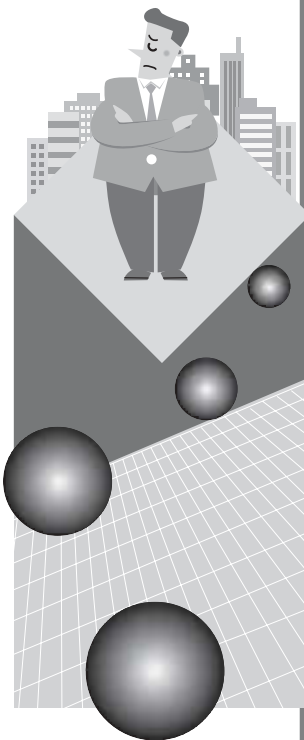
## 業界から一言

## 製造業

食料品製造/クリスマス用洋菓子、チョコレート及び正月おせち料理に關しては好調。昨年度対比で103〜107%の売上。

金属製品製造/加工の難易度が高い機械金属製造が好調。フル稼働。

ワイン製造/一般に景気回復感は無く、ワイン消



## ▶ データから見た

## 業界の動き

山梨県中小企業団体中央会

情報連絡員報告(平成18年12月分)

「製造業」のDI値は、売上高 - 25ポイント(対前月 10)、収益状況 - 30ポイント(対前月 5)、景況感 - 30ポイント(対前月 5)と全ての項目で悪化、しかし、「非製造業」においては、昨年5月以降下降を続けていた売上高のDI値が20ポイント回復し - 23ポイントに、また収益状況、景況感においても未だDI値はマイナスであるが、収益状況は23ポイント、景況感33ポイントとそれぞれ回復を示している。

情報連絡員から寄せられた個々のコメントから全体の景気状況をみると、売上が好調なのは、機械金属製造業、食品及び高級自動車・軽自動車の一部のみで、その他は消費動向の低迷と原材料高に伴う収益率の悪化を訴える声が大半を占め、中小企業者の厳しい経営状況が伺えるものとなっている。

## 非製造業

電気器具小売/プラズマ液晶テレビ、地上波デジタル関連商品の売上げが好調。

ている。

商店街/景気回復の実感はなく、来客数及び売上げの低下に歯止めがかからない。

バス/規制緩和に伴い、バス台数は増加しているが、景気回復は感じられず、客数は減少。

ただし、量販店が販売の中心で、地域販売店は顧客ばなれが進まないよう、顧客ニーズに合った迅速な対応と設置技術の向上など営業・経営努力が必要。自動車小売/軽自動車及び高級車種の一部で好調な売上げ。しかし、販売条件は緩んでおり、収益の改善のため、販売以外のサービスの提供を強化している。食料品小売/売上げは総じて横ばい。包装資材等の値上がりにより収益は悪化している。

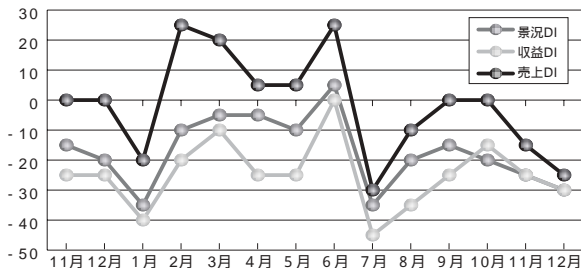
宿泊業/年末、例年に比べて忘年会が少なく、特に飲食の売上げが低下している。

近年、お客さんの宿の選定がインターネットや情報誌の評価によって左右され、各ホテル・旅館は特色作り・設備投資を行わなければならない状況。自動車整備業/車検整備入庫車両の小型化、ユーザー車検や異業種(自動車部品販売店)への流出が食い止められず、売上げが減少している。

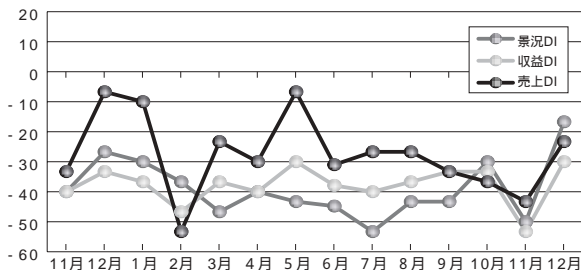
運送業(トラック)/環境に配慮する傾向によって、電力や天然ガスの利用が増え、さらに暖冬の影響もあり石油・LPGガスの需要が落ち込んでおり、輸送量が大幅に減少している。

また、大企業の設備投資は盛んで、大型輸送は一部で回復しているものの、雑貨等の集配は減少している。

製造業 (DI値の推移)



非製造業 (DI値の推移)



合計 (DI値の推移)

